

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(18番) 清水 勉 (日本維新の会)</p>	<p>(2) 各事業などにおいて、効果検証をきちんと実施すべきということは、常々申し上げており、大立山まつりについてもしっかりと分析を実施していただきたい。平成29年度当初予算においても、第3回大立山まつりに1億2千万円という予算をかけて実施するということであるが、検証の結果、観光振興や奈良県経済に対してさほどの効果が得られないということになれば、どの時点で内容の見直しを判断するのか。</p> <p>3 関西広域連合への全部加入について</p> <p>本県は平成27年12月に、「広域防災」と「広域観光・文化・スポーツ振興」の2分野で関西広域連合に加入したが、大阪では夢洲を会場として、2025年大阪万国博覧会の招致が進められている。万国博覧会は関西全体の経済への影響が非常に大きいと考えられることから、「広域産業振興」、「広域医療」、「広域環境保全」など、残る関西広域連合の分野事務に加入すべき時期が近付いていると考える。知事の所見を伺いたい。</p> <p>4 NAFIC（なら食と農の魅力創造国際大学校）の周辺整備について</p> <p>(1) NAFICのセミナーハウスが本県の農業振興を図るうえで、多額の建設費や後のランニングコストを考えると絶対必要な施設であるとは考え難い。どういう効果を狙ってこれほどの大きな投資をするのか。</p> <p>(2) このような大きなプロジェクトを進めるには、県と地元市が連携して役割を分担して進めていくべきであると考えますが、今後、NAFIC周辺整備の実施にあたり、どのように桜井市と連携し、周辺のまちづくりに取り組んでいくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>農 林 部 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(18番) 清水 勉 (日本維新の会)</p>	<p>5 英語教育の推進について</p> <p>奈良県教育振興大綱アクションプランには、平成31年度までに教員の英検準1級保持者の割合を全国の平均以上にするという目標を掲げているが、平成27年度には中学校で25.3%、高校で45.4%と低い状況にある。県ではこの状況をどのように分析し、今後、目標達成に向けてどのように取り組んでいこうと考えているのか。また、英語教育を推進していくために、スーパーグローバルハイスクールの拡大を検討すべきと考えるがどうか。</p>	<p>教 育 長</p>
 <p>(31番) 和田 恵治 (創生奈良)</p>	<p>1 「奈良県小規模企業振興基本条例」案について</p> <p>(1) 条例案では、小規模企業の事業の成長発展、また特色を生かした事業の持続的な発展を促すための環境整備を図る、としているが、経営が困難になっている、あるいは衰退する斜陽産業に属する小規模企業を支援することで、廃業しないで事業が続けられるような、企業存続を図るための積極的な支援を行うという視点も必要ではないか。知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 小規模企業は、事業の持続的な発展に必要な経営資源の確保が困難であることに留意して、小規模企業への支援策を積極的に講じていく必要があると考えるが、その方策を伺いたい。</p> <p>(3) 県は、小規模企業の動向を把握するとともに、小規模企業が抱える課題の把握に努め、振興施策の実施状況を毎年検証し、基本方針との乖離がないかどうか、点検する必要があると思うが、どのように考えているのか。</p> <p>(4) 地場産業が地域の振興で果たしている役割や重要性について、地域の子どもたちに学ぶ機会を提供し、そのことを通じて後継者づくりに取り組むことが必要かと思うが、知事の所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(31番) 和田 恵治 (創生奈良)</p>	<p>2 県制度融資の運用と「奈良県中小企業者等の事業の再生を支援するための中小企業者等向け融資の損失補償に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例」案について</p> <p>(1) 県制度融資が企業の要望に応える、魅力ある融資制度となっているのか、また制度融資の窓口となる金融機関は奈良県の経済政策と制度融資の意義を理解したうえでの融資業務を行っているのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 県制度融資の代位弁済額が大きく減った要因は何なのか。</p> <p>(3) 条例を制定した場合、どのような効果が期待できるのか。特に、小規模企業にとってどのようなメリットがあるのか、伺いたい。</p>	<p>知 事</p>
	<p>3 奈良のイメージづくりによるブランド化について</p> <p>奈良のブランドイメージは「国のはじまり」、「歴史・文化」と考えるが、日本観光と言えば「奈良」となるよう、具体的にどのようにしてこれを創りあげていくのか。また、どのように国内外に発信し、観光客の誘客につなげていくのか、知事の所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p>
	<p>4 「部落差別の解消の推進に関する法律」の具体化に向けて</p> <p>(1) 「部落差別の解消の推進に関する法律」が制定されたことの意義をどのように認識しているのか、伺いたい。</p> <p>(2) 「奈良県あらゆる差別の撤廃及び人権の尊重に関する条例」は、「同和問題その他の人権に関する問題の解決を図り、もって人権が等しく尊重される社会の実現に寄与する」ことを目的にしており、すべての人権問題の解決に取り組む観点、同感であり、優れた条例であると思っているが、部落差別という個別の人権問題を対象にした個別法である「部落差別の解消の推進に関する法律」との関連性、整合性について、どのように認識すべきなのか、伺いたい。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(31番) 和田 恵治 (創生奈良)</p>	<p>(3) 「部落差別の解消の推進に関する法律」で明記された第4条の「相談体制の充実」、第5条の「教育及び啓発」、第6条の「部落差別の実態に係る調査」などを県行政はどのように具体化していくのか。</p> <p>(4) 市町村行政にあっても「部落差別の解消の推進に関する法律」の制定の理念を大切にしながら対策の具体化を願うが、県として市町村と連携して取り組むためにも、法の趣旨について周知徹底する必要があると思うが、知事の考えを伺いたい。</p> <p>5 介護職員の給料等の処遇改善や労働環境の向上など魅力ある職場づくりについて</p> <p>現状はもとより将来的にも懸念されている介護職場における深刻な人材不足に対応して人材を確保するため、介護職員の賃金水準を含む魅力ある職場づくりについて、どのように取り組むのか、知事の所見を伺いたい。</p> <p>6 大相撲幕内優勝力士への知事賞贈呈について</p>	<p>知 事</p> <p>【 要 望 】</p>
 <p>(3番) 猪奥 美里 (民進党)</p>	<p>1 働き方改善について</p> <p>(1) 働き方改善の意義について県はどのように考えているのか。また、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 人口が減少局面に入中、県内企業の人材確保が今後より困難になると思われる。これに対し、大学生の県内企業へのインターンシップは、県内就業率が全国最下位の当県においては大変有効であり、促進すべきと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>(3) 働く女性の中には、育児と介護のダブルケアが必要となり、働くことを断念せざるを得ないケースが見受けられる。このような方が働き続けることができるための支援が必要と考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(3番) 猪奥 美里 (民進党)</p>	<p>2 性暴力被害者への支援について</p> <p>性暴力の被害者が治療や相談などの総合支援を1カ所で受けられる「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」を県内に設置すべきと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p>	知 事
	<p>3 児童虐待について</p> <p>こども家庭相談センターが児童虐待に的確に対応し、十分な機能を果たしていくため、その体制強化についてどのように取り組んでいくのか、また、一時保護所や児童養護施設における心のケアについてはどのように取り組んでいるのか。</p>	知 事
	<p>4 ファシリティマネジメントについて</p> <p>(1) ファシリティマネジメントに関する県と市町村の連携について、現状と今後の取組について伺いたい。</p> <p>(2) ファシリティマネジメントを進めるにあたり、民間の力を活かす取組や公民連携を進める必要があると考えるがどうか。</p>	知 事
	<p>5 県立高等学校の制服等の調達について</p> <p>県立高等学校の制服等について、価格や調達方法について調査を行った上で、調達する際の指針を策定すると聞いているが、その進捗状況について伺いたい。</p>	知 事
	<p>6 学校給食における地産地消の促進について</p> <p>市町村教育委員会が各々取り組んでいる学校給食における地産地消を一層促進するため、県はどのような取組を行っており、今後どのように取り組んでいくのか。</p>	教 育 長